

Kameda Acute Pain Service (KAPS)

術後疼痛管理チームの方針

痛みは身体の異常事態を教えてくれる大切な働きがあります。痛みが持続すると健康に悪影響を及ぼし生活の質を低下させることとなります。私たちは患者さまの痛みを専門的に診察し、以下のことを実施します。

1. 手術中に行われた鎮痛薬の効果を観察し、痛みをコントロールします。
2. 痛みを緩和させる鎮痛薬による合併症を早期に発見し、患者さまに対する不利益を最小限にとどめます。
3. 手術後の鎮痛を患者ご本人やご家族と一緒に考え、快適な周術期を過ごせるように鎮痛薬の調整を実施します。
4. 効果的な鎮痛を図り、術後合併症を軽減して患者さまが周術期を安楽に過ごせるように関わります。

亀田術後疼痛管理チーム

麻酔科、手術室看護師、薬剤師、臨床工学技士